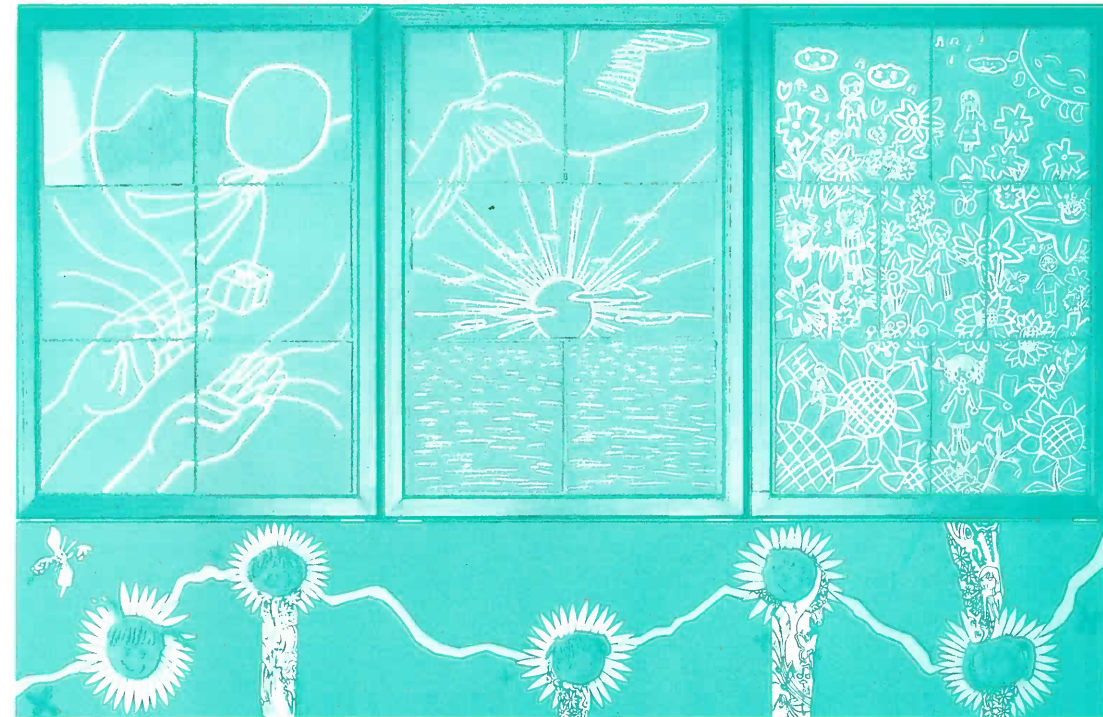


令和5年度



学校要覧



福井県立ろう学校

〒910-0014 福井県福井市幾久町 2-22

TEL 0776-24-5190

FAX 0776-24-5207

E-mail rougako@pref.fukui.lg.jp

info@fukui-sd.ed.jp

校歌

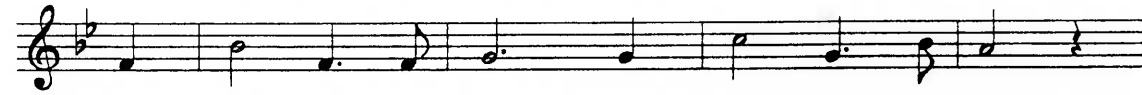
作詞 荒川 洋治
作曲 久木山 直



の か ま に ぜ い ひ を あ ら き が る は と ゆ な り の よ う に の よ う に



い つ も げ ん き よ く あ る い て ゆ こ う
い つ つ も む ね は ら っ て あ る い て ゆ こ う
い つ つ も あ た ら し く あ る い て ゆ こ う



い い ま ま こ こ こ に わ た し た ち
い い ま ま こ こ こ に わ た し た ち



だ こ き い こ ぼ ち の う た わ た 一 を う た た い ま す
だ こ き い こ ぼ う の う た わ た 一 を う た た い ま す

一 野にひらく 花のように
いつも 元気よく
歩いて行こう
いまここに わたしたち
大地のうたを うたいます

二 風をきる 鳥のように
いつも 胸はって
歩いて行こう
いまここに わたしたち
心合わせて うたいます

三 舞いあがる 夢のように
いつも あたらしく
歩いて行こう
いまここに わたしたち
希望のうたを うたいます

作詞 荒川 洋治
作曲 久木山 直

校歌

I. 学校の沿革

概 要

- 大正 4. 3. 11 広岡善壽が福井県吉田郡東藤島村大和田の自坊正願寺に私立福井聾啞学校を開校
- 10. 10. 1 福井市日ノ出下町32に敷地250坪、建坪48坪の校舎を新築移転
- 14. 4. 1 聾啞学校令に準拠して学則を変更し、初等部6か年、中等部5か年を置き、県立代用校として認可
- 昭和 4. 3. 31 福井県聾啞学校と改称
- 5. 1. 8 福井市豊島中町の福井師範学校内に新校舎を竣工移転
- 9. 1. 8 中等部工芸科（竹細工）を設置
- 11. 5. 1 福井市牧ノ島に校舎を移転改築
- 23. 4. 1 就学義務制が施行され小学部6か年、中等部3か年、高等部本科3か年（木材工芸課程、家庭技芸課程）、専攻科2か年を設置
- 23. 6. 28 福井大震災のため校舎宿舎倒壊
- 23. 7. 25 九頭竜川堤防決壊による水害により備品書類の大部分が流失
- 24. 4. 1 福井県ろう学校と改称
- 30. 5. 17 福井市幾久町に新校舎を竣工移転
- 32. 4. 1 福井県立ろう学校と改称
- 39. 4. 1 幼稚部を設置し、また高等部にクリーニング科を設置
- 39. 11. 6 創立50周年記念式典を挙（五十年史発刊）
- 41. 4. 1 幼稚部4歳児学級を増設
- 43. 4. 20 3歳児の入学を許可
- 45. 3. 1 クリーニング教棟を竣工
- 46. 5. 30 本館前庭が完成 スクールバス購入
- 46. 6. 1 専攻科修業年限1年となる
- 49. 4. 1 福井県豊かな心づくり教育実践指定校
- 49. 8. 28 第19回全国高等学校軟式野球選手権大会に出場
- 49. 11. 10 創立60周年記念式典を挙（福井県立ろう学校創立六十周年記念-五十年史に続く十年の歩み-発刊）
- 51. 4. 3 文部省特殊教育教育課程研究校
- 53. 4. 1 寄宿舍を竣工
- 54. 6. 1 体育館を竣工

昭和55.11.6 小学部・中学部教棟を竣工
57.8.6 幼稚部教棟を竣工
60.3.30 プールを竣工
60.7.1 高等部クリーニング科を廃科
60.12.19 校歌制定
61.3.31 高等部教棟、バックネット・防球フェンスを竣工
61.7.29 実習棟を竣工
61.10.11 創立70周年記念式並びに校舎総合落成式典を挙行 校歌碑建立
(福井県立ろう学校七十年史発刊)
63.4.1 昭和63年度心身障害児適正就学推進研究校
63.11.20 第25回全国聾学校卓球大会、女子団体戦準優勝(名古屋市)
平成元.4.1 平成元年・平成2年度北陸地区聾教育研究会主管校
4.6.7 第27回福井県高等学校軟式野球大会において野球部優勝
4.7.17 第36回北陸地区聾学校親善体育大会を本県において開催
野球部優勝、卓球部準優勝
5.9.26 第29回福井県高等学校秋季軟式野球新人大会において野球部初優勝
5.11.12~14 第30回記念全国聾学校卓球大会を本県において開催
7.6.17 創立80周年記念式典を挙行(福井県立ろう学校八十年史発刊)
8.3.27 本館リフレッシュエ事完了
10.7.15~16 第42回北陸地区ろう学校親善体育大会を本県において開催
11.3.30 スクールバス更新
12.4.1 平成12年・平成13年度北陸地区聾教育研究会主管校
13.2.23 第41回北陸地区聾教育研究大会を本校において開催
13.4.1 通級による指導開始
13.9.26~28 第35回全日本聾教育研究大会(福井大会)開催
16.7.11 第48回北陸地区ろう学校親善体育大会を本県において開催
卓球男子団体戦優勝
17.10.22 創立90周年記念式典を挙行(福井県立ろう学校九十年史発刊)
19.1.9 寄宿舎リフレッシュエ事完了
20.7.29~31 第52回北陸地区ろう学校親善体育大会において卓球女子団体戦3連覇
22.3.24 校歌をモチーフにした陶板披露

平成22.7.28~30 第54回北陸地区ろう学校親善体育大会を本県において開催
卓球男子団体戦優勝
23.3.25 小中学部教棟耐震補強リフレッシュエ事完了
24.4.1 平成24年・平成25年度北陸地区聾教育研究会主管校
24.10.5~7 第49回全国聾学校陸上競技大会(奈良・大阪大会)において一部男子
400mリレー第3位
25.9.26~27 第47回北陸地区聾教育研究大会を本校において開催
25.10.4~6 第50回記念全国聾学校卓球大会(徳島大会)において一部男女団体戦第3位
25.11.7~9 第50回記念全国聾学校陸上競技大会(東京大会)において一部女子
団体総合4位
26.11.7~9 第51回全国聾学校卓球大会(滋賀大会)において一部女子団体戦第3位
27.10.24 創立百周年記念式典を挙行
27.11.13~15 第52回全国聾学校卓球大会(千葉大会)において一部女子団体戦準優勝
28.3 福井県立ろう学校百年史発刊
28.7.26~28 第60回北陸地区ろう学校親善体育大会を本県において開催
卓球女子団体戦5連覇
29.8 体育館リフレッシュエ事完了
令和3.2.19 ふくい優秀教職員表彰 ろう学校教職員一同
4.7.29 第66回北陸地区ろう学校親善体育大会を本県において開催

歴代校長

初代	大正 4. 3.11	広岡 善壽	第17代	昭和62. 4. 1	井野部正直
第2代	大正 4. 3.31	原 安馬	第18代	平成元.12. 1	吉崎 薫
第3代	昭和 5. 9. 1	山田 恒治	第19代	平成 4. 4. 1	佐々木英治
第4代	昭和 8. 4.30	高村 肇	第20代	平成 7. 4. 1	藤野 立恵
第5代	昭和13. 3.31	上田 豊一	第21代	平成 9. 4. 1	東方 治男
第6代	昭和18. 8.31	永井 泰造	第22代	平成11. 4. 1	村上 正孝
第7代	昭和24. 3.31	松川 吉雄	第23代	平成14. 4. 1	林 俊明
第8代	昭和30. 8. 1	東村 清三	第24代	平成17. 4. 1	土田きみ子
第9代	昭和31. 4. 1	平野 敏蔵	第25代	平成20. 4. 1	柳澤むつみ
第10代	昭和34. 4. 1	石黒 晶	第26代	平成22. 4. 1	小林 修二
第11代	昭和38. 4. 1	竹川 伝好	第27代	平成24. 4. 1	菱川千鶴子
第12代	昭和42. 4. 1	江守 治逸	第28代	平成27. 4. 1	小八木 隆
第13代	昭和46. 4. 1	加藤 行雄	第29代	平成30. 4. 1	松村 浩成
第14代	昭和48. 4. 1	濱岸 安正	第30代	令和 3. 4. 1	西 憲幸
第15代	昭和57. 4. 1	長谷川統一	第31代	令和 5. 4. 1	川畑 順一
第16代	昭和59. 4. 1	木下 昭三			

Ⅱ. 教育方針

1. 教育目標

聴覚に障がいのある幼児児童生徒に対し、その心身の発達と能力・特性に応じた教育の実践をとおして、社会人として自立するための基盤を育成する。

- (1) 心豊かで克己心の強い人間を育成する。
- (2) 敬愛の精神と豊かな知性を備えた人間を育成する。
- (3) 責任を重んじ自主性や社会性を備えた人間を育成する。

2. 校訓

自主 — 自分で考える子

敬愛 — 思いやりのある子

希望 — 大きな夢を持つ子

3. 本年度の教育方針

研究テーマ「子供たちが自分らしく主体的に生きるための支援の在り方」

(1) 言語力・コミュニケーション力の育成

一人一人の実態やニーズに応じた言語力・多様な手段を活用したコミュニケーション力の育成

(2) 主体的・協働的な学びの推進

自ら考え主体的に学ぶ授業づくり、地域の資源や人材を活用した学習活動の推進

(3) 多様な状態像への対応力向上

重複障がいや発達障がい等を併せ有する幼児児童生徒への理解と対応力の向上

(4) 専門性・指導力の向上

OJTによる専門性の継承、校内専門研修の内容・方法等の検討や工夫、ICTの活用

(5) 学校内外の聴覚障がい児に対する切れ目ない支援の推進

校内および関係機関との連携により将来を見据えた個々の学びと支援をつなぐ

4. 学部別教育方針

【幼稚部】

- (1) 個々の障がいの状態や発達の段階等に応じて、コミュニケーションの力や豊かな言葉の育成を図る。
- (2) 日々の生活経験や遊びを通して、主体的に人やものにかかわる力を育てる。
- (3) 健全な心身の発達を促し、基本的な生活習慣の育成を図る。
- (4) 保護者支援を充実させ、望ましい親子関係の育成を図る。

【小学部】

- (1) 指導内容を精選し基礎学力の定着を図るとともに、体験的活動を多く取り入れ、自分で考え、判断する力を育てる。
- (2) 運動する機会を多く設け、健康な体をつくり、体力の向上を図る。
- (3) 集団での活動を充実させ、お互いを認め合い尊重することを大切にして、コミュニケーション能力の向上を図る。

【中学部】

- (1) 個に応じた学習指導を進め、主体的に取り組む態度を養う。
- (2) 体験的学習を通して、課題を解決する力やコミュニケーション能力を育てる。
- (3) 自己を見つめ、進路に関心をもち、積極的に社会参加する力を養う。

【高等部】

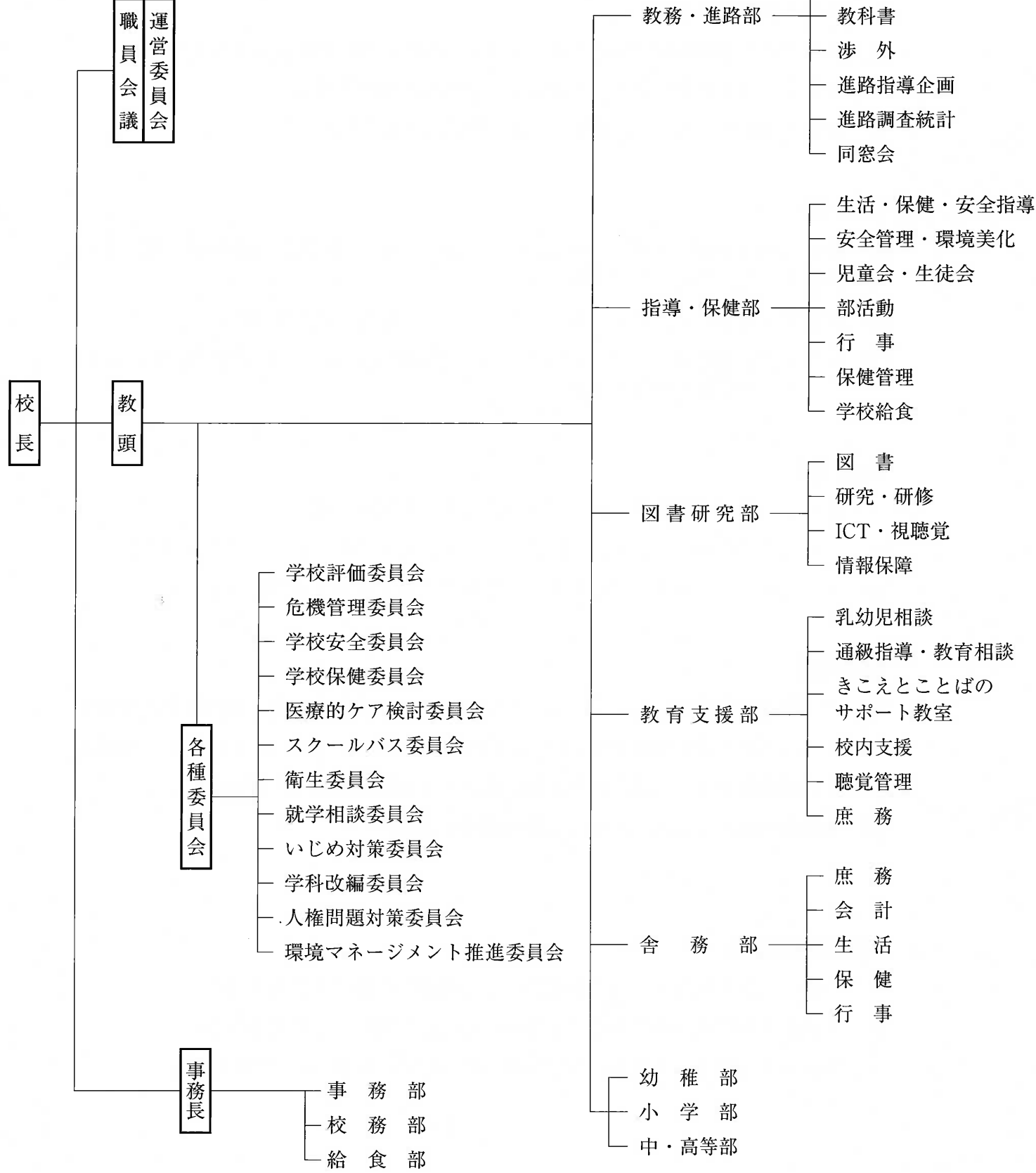
- (1) 自分の課題を意識し、自立に向けて必要な知識・技能の習得に努める態度を養う。
- (2) 個に応じた学習や体験を通して、学力及びコミュニケーション能力の向上を図る。
- (3) 自己認識を深め、自立と社会参加に向けて主体的に行動する態度を育てる。
- (4) 卒業後の生活を見据えた移行支援の充実を図る。

5. 寄宿舎指導方針

- (1) 将来の生活を見据え、自立を目指し、主体的に生活できる力を育む。
- (2) 集団生活の中で友情を深め、お互いに助け合い協力し合う力を育む。
- (3) 健康や安全に関心をもち、自分の身の回りのことを自ら行う力を育む。

Ⅲ. 学校運営

1. 運営組織



2. 令和5年度 福井県立ろう学校スクールプラン

校訓	自主…自分で考える子 敬愛…思いやりのある子 希望…大きな夢を持つ子																		
教育目標	聴覚に障がいのある幼児児童生徒に対し、その心身の発達と能力・特性に応じた教育の実践を通して、社会人として自立するための基盤を育成する。 1 心豊かで克己心の強い人間を育成する。 2 敬愛の精神と豊かな知性を備えた人間を育成する。 3 責任を重んじ自主性や社会性を備えた人間を育成する。																		
教育方針	研究テーマ「子どもたちが自分らしく主体的に生きるための支援の在り方」 1 言語力・コミュニケーション力の育成 一人一人の実態やニーズに応じた言語力・多様な手段を活用したコミュニケーション力の育成 2 主体的・協働的な学びの推進 自ら考え主体的に学ぶ授業づくり、地域の資源や人材を活用した学習活動の推進 3 多様な状態像への対応力向上 重複障がいや発達障がい等を併せ有する幼児児童生徒への理解と対応力の向上																		
重点目標	<table border="1"> <tr> <td>教育課程・学習指導</td> <td>幼稚園</td> <td>幼児の発達に応じたコミュニケーションの力を育む実践を行う。</td> </tr> <tr> <td>教育課程・学習指導</td> <td>小学部</td> <td>一人一人の発達段階やニーズに応じたコミュニケーションの力を伸ばし、児童が自ら考え、活動に主体的に参加しようとする力を育てる。</td> </tr> <tr> <td>教育課程・学習指導</td> <td>中・高等部</td> <td>社会的自立に向けて、コミュニケーションの力を伸ばし、良好な人間関係を形成する態度を育成する。</td> </tr> <tr> <td>生活指導</td> <td>舎務部</td> <td>集団生活をとおして、寄宿舎生活が主体的に生活する力を育む。</td> </tr> <tr> <td>センター的機能</td> <td>教育支援部</td> <td>関係機関と連携・協力し、早期からの切れ目ない難聴児支援に努める。</td> </tr> <tr> <td>教職員の専門性及び授業力の向上</td> <td>学校全体</td> <td>①教員同士の学び合いをとおして「主体的・対話的・深い学び」のある授業づくりに取り組み。 ②分かる授業づくりや専門性向上において、ICT機器の活用を上げる。 ③幼児児童生徒に確実に確実に伝達手段を活用する。</td> </tr> </table>	教育課程・学習指導	幼稚園	幼児の発達に応じたコミュニケーションの力を育む実践を行う。	教育課程・学習指導	小学部	一人一人の発達段階やニーズに応じたコミュニケーションの力を伸ばし、児童が自ら考え、活動に主体的に参加しようとする力を育てる。	教育課程・学習指導	中・高等部	社会的自立に向けて、コミュニケーションの力を伸ばし、良好な人間関係を形成する態度を育成する。	生活指導	舎務部	集団生活をとおして、寄宿舎生活が主体的に生活する力を育む。	センター的機能	教育支援部	関係機関と連携・協力し、早期からの切れ目ない難聴児支援に努める。	教職員の専門性及び授業力の向上	学校全体	①教員同士の学び合いをとおして「主体的・対話的・深い学び」のある授業づくりに取り組み。 ②分かる授業づくりや専門性向上において、ICT機器の活用を上げる。 ③幼児児童生徒に確実に確実に伝達手段を活用する。
教育課程・学習指導	幼稚園	幼児の発達に応じたコミュニケーションの力を育む実践を行う。																	
教育課程・学習指導	小学部	一人一人の発達段階やニーズに応じたコミュニケーションの力を伸ばし、児童が自ら考え、活動に主体的に参加しようとする力を育てる。																	
教育課程・学習指導	中・高等部	社会的自立に向けて、コミュニケーションの力を伸ばし、良好な人間関係を形成する態度を育成する。																	
生活指導	舎務部	集団生活をとおして、寄宿舎生活が主体的に生活する力を育む。																	
センター的機能	教育支援部	関係機関と連携・協力し、早期からの切れ目ない難聴児支援に努める。																	
教職員の専門性及び授業力の向上	学校全体	①教員同士の学び合いをとおして「主体的・対話的・深い学び」のある授業づくりに取り組み。 ②分かる授業づくりや専門性向上において、ICT機器の活用を上げる。 ③幼児児童生徒に確実に確実に伝達手段を活用する。																	
具体的取組	<table border="1"> <tr> <td>幼稚園</td> <td>定期的な授業研究会及びケース研究会を実施し、子どもたちが主体的に活動に取り組むための支援を工夫する。 【目標】授業研究会やケース研究会で話し合われたことを日々の関わりや授業づくりに活かす。 80%以上</td> </tr> <tr> <td>小学部</td> <td>児童が主体的に活動に参加できるよう、活動内容や活動に合わせた支援を工夫する。 【目標】個に応じたコミュニケーションの方法や学習活動について検討し、実践する。 80%以上</td> </tr> <tr> <td>中・高等部</td> <td>生徒が相手や状況に応じて、互いの考えや気持ちを適切に伝え合えるように支援する。 【目標】生徒が適切にコミュニケーションできるような支援を行う。 80%以上</td> </tr> <tr> <td>舎務部</td> <td>寄宿舎生が自分たちの生活について考え話し合う中で、自己決定する力が身に付くよう工夫する。 【目標】寄宿舎生が自己決定する力が身に付くよう支援する。 80%以上</td> </tr> <tr> <td>教育支援部</td> <td>各機関と連携し、難聴児に適切な支援や教育相談活動を行う。 【目標】各機関と連携・協力し、支援する。 80%以上</td> </tr> <tr> <td>学校全体</td> <td>①所属学部の授業を参観しやすいような工夫を行う。また専門性チェックリストを活用しながら授業参観し、感想を伝えたり意見交換を行ったりする。 【目標】授業参観を年に4本（うち他学部を2本）、寄宿舎指導員は4本以上行い、感想等を伝える。80%以上 ②ICT機器を効果的に活用した実践例を学び、自分の授業づくりに生かす。また、オンライン研修を積極的に活用する。 【目標】ICT機器を活用した授業や活動を年に3回以上行い、オンライン研修に1回以上参加する。80%以上 ③授業や学校行事において、手話の他にもUDトークやパワーポイントなど、多様な視覚情報を提示する。 【目標】個々の実態に応じた手段を用い、情報保障を行う。 80%以上</td> </tr> </table>	幼稚園	定期的な授業研究会及びケース研究会を実施し、子どもたちが主体的に活動に取り組むための支援を工夫する。 【目標】授業研究会やケース研究会で話し合われたことを日々の関わりや授業づくりに活かす。 80%以上	小学部	児童が主体的に活動に参加できるよう、活動内容や活動に合わせた支援を工夫する。 【目標】個に応じたコミュニケーションの方法や学習活動について検討し、実践する。 80%以上	中・高等部	生徒が相手や状況に応じて、互いの考えや気持ちを適切に伝え合えるように支援する。 【目標】生徒が適切にコミュニケーションできるような支援を行う。 80%以上	舎務部	寄宿舎生が自分たちの生活について考え話し合う中で、自己決定する力が身に付くよう工夫する。 【目標】寄宿舎生が自己決定する力が身に付くよう支援する。 80%以上	教育支援部	各機関と連携し、難聴児に適切な支援や教育相談活動を行う。 【目標】各機関と連携・協力し、支援する。 80%以上	学校全体	①所属学部の授業を参観しやすいような工夫を行う。また専門性チェックリストを活用しながら授業参観し、感想を伝えたり意見交換を行ったりする。 【目標】授業参観を年に4本（うち他学部を2本）、寄宿舎指導員は4本以上行い、感想等を伝える。80%以上 ②ICT機器を効果的に活用した実践例を学び、自分の授業づくりに生かす。また、オンライン研修を積極的に活用する。 【目標】ICT機器を活用した授業や活動を年に3回以上行い、オンライン研修に1回以上参加する。80%以上 ③授業や学校行事において、手話の他にもUDトークやパワーポイントなど、多様な視覚情報を提示する。 【目標】個々の実態に応じた手段を用い、情報保障を行う。 80%以上						
幼稚園	定期的な授業研究会及びケース研究会を実施し、子どもたちが主体的に活動に取り組むための支援を工夫する。 【目標】授業研究会やケース研究会で話し合われたことを日々の関わりや授業づくりに活かす。 80%以上																		
小学部	児童が主体的に活動に参加できるよう、活動内容や活動に合わせた支援を工夫する。 【目標】個に応じたコミュニケーションの方法や学習活動について検討し、実践する。 80%以上																		
中・高等部	生徒が相手や状況に応じて、互いの考えや気持ちを適切に伝え合えるように支援する。 【目標】生徒が適切にコミュニケーションできるような支援を行う。 80%以上																		
舎務部	寄宿舎生が自分たちの生活について考え話し合う中で、自己決定する力が身に付くよう工夫する。 【目標】寄宿舎生が自己決定する力が身に付くよう支援する。 80%以上																		
教育支援部	各機関と連携し、難聴児に適切な支援や教育相談活動を行う。 【目標】各機関と連携・協力し、支援する。 80%以上																		
学校全体	①所属学部の授業を参観しやすいような工夫を行う。また専門性チェックリストを活用しながら授業参観し、感想を伝えたり意見交換を行ったりする。 【目標】授業参観を年に4本（うち他学部を2本）、寄宿舎指導員は4本以上行い、感想等を伝える。80%以上 ②ICT機器を効果的に活用した実践例を学び、自分の授業づくりに生かす。また、オンライン研修を積極的に活用する。 【目標】ICT機器を活用した授業や活動を年に3回以上行い、オンライン研修に1回以上参加する。80%以上 ③授業や学校行事において、手話の他にもUDトークやパワーポイントなど、多様な視覚情報を提示する。 【目標】個々の実態に応じた手段を用い、情報保障を行う。 80%以上																		

IV. 年間主要行事

学期	月	儀式的行事 学芸的行事	健康安全・ 体育的行事	遠足・集団 宿泊の行事	勤労生産・ 奉仕的行事	その他学習に 属する行事	寄宿舍
一学期	4	入学式 新任式・始業式	身体測定 健康診断（内科）	「幼」対面式 「幼」新入児歓迎会	月末大掃除	生徒会活動 生徒総会 児童会活動	災害時対応訓練
	5		心電図検査 健康診断（歯科） 体育大会	「小」新入生を迎える会	月末大掃除	「中高」中間考査 生徒会活動 児童会活動	災害時対応訓練 誕生会
	6		健康診断（耳鼻科） 水泳前健康診断 避難訓練 健康診断（眼科）	「幼」遠足 「小」宿泊学習・遠足	大掃除	「中」校外学習 「小3・5」校外学習 生徒会活動 児童会活動	買い物学習 誕生会
	7	終業式	「中高」自転車教室 不審者対応訓練	「幼」夏祭り	月末大掃除	「幼」校外学習 「中」大安寺中交流学习 「中高」期末考査 生徒会活動 児童会活動	避難訓練（地震想定） 花火大会 誕生会
	8				「中1」職場見学 「高1・2」職場実習	「小3・5」校外学習	
二学期	9	始業式	「小」交通安全教室 水害想定避難訓練	「幼」遠足	月末大掃除 「中2・3」職場体験学習	「小6」校外学習 生徒会活動 児童会活動	手話交流会 誕生会
	10	文化祭			月末大掃除	「小」大安寺小交流体育大会 「中高」中間考査 生徒会活動 児童会活動	避難訓練（水害想定）
	11		健康診断（歯科）	「幼」校外学習 「中2・3」修学旅行 「中1・高」遠足	月末大掃除 「高2」職場実習	「小3・5」校外学習 「小重複」校外学習 生徒会活動 児童会活動	誕生会
	12	終業式		「幼」クリスマス会 「小」冬のわくわくまつり	月末大掃除	「中高」期末考査 「幼」校外学習 「小3～6」大安寺小交流 生徒会活動 児童会活動	災害時対応訓練 年忘れ会 誕生会
三学期	1	始業式		「幼」まめまき	月末大掃除	「中高」主張体験発表会 「幼」校外学習 生徒会活動 児童会活動	災害時対応訓練
	2		「中高」球技大会		月末大掃除	「中3・高3」学年末考査 生徒会活動 生徒総会 児童会活動	災害時対策訓練 誕生会 寄宿舍納会
	3	修了・卒業式 修了式・離任式		「小」卒業を祝う会 「中高」卒業生を送る会 「幼」修了おいわい会	月末大掃除・ワックスかけ	「幼」校外学習 「中高」学年末考査 生徒会活動 児童会活動	災害時対応訓練 誕生会

※小学部の各学年で、教科学習等で必要な校外学習を行う。

V. 教職員

教職員数

職	校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	講師	教育業務支援員	非常勤講師	寄宿舍指導員	非常勤舎監	非常勤宿直員	事務長	事務職員	栄養教諭	校務員	給食員	校医	薬剤師	合計
	1	1	32	1	2	7	1	5	6	2	2	1	4	1	2	2	3	1	74

VI. 幼児・児童・生徒

1. 幼児・児童・生徒数

学年	幼稚部			小学部						中学部			高等部		
	三歳児	四歳児	五歳児	一年	二年	三年	四年	五年	六年	一年	二年	三年	一年	二年	三年
男	1	1	1			1	1	3	1	2			1	1	
女	2	2	2			1	1	2	1		2	3	1	1	
小計	3	3	3			2	2	5	2	2	2	3	2	2	
計	9			11						7			4		

2. 出身地別幼児・児童・生徒

市町名	福井市	鯖江市	敦賀市	勝山市	越前市	坂井市	永平寺町	越前町	おい町	計
幼児・児童・生徒数	13	2	1	1	5	5	1	2	1	31

3. 寄宿舍舎生数

学部	幼稚部			小学部						中学部			高等部			計
学年	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	
男								2	1						1	4
女								1				3				4
計								3	1			3			1	8

Ⅶ. 教育課程

1. 幼稚部 (数字は週時間数)

年齢	教育内容 話し合い 活動	運動 あそび	劇 あそび	音楽 あそび	造形 あそび	自立活動	計
3歳	5	5	1	2	2	5	20
4歳	5	5	1	2	2	5	20
5歳	5	5	1	2	2	5	20

2. 小学部 (数字は年間時数)

(普通学級)

教科等	学年	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
各 教 科	国語	238	245	210	210	170	175
	社会			70	90	90	90
	算数	136	175	175	175	175	175
	理科			90	105	105	105
	生活	102	105				
	音楽	34	35	35	35	35	35
	図画工作	68	70	50	50	50	50
	家庭					60	55
	体育	102	105	105	105	90	90
	外国語					70	70
特別の教科 道徳		34	35	35	35	35	35
外国語活動				35	35		
総合的な学習の時間				55	55	35	35
領 域	特別活動	34	35	35	35	35	35
	自立活動	102	105	85	85	65	65
合 計		850	910	980	1015	1015	1015

(重複学級1)

教科等	学年	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
各 教 科	生活	102	105	160	195	195	195
	国語	170	175	175	175	175	175
	算数	136	175	175	175	175	175
	音楽	34	35	35	35	35	35
	図画工作	68	70	50	50	50	50
	体育	102	105	105	105	105	105
特別の教科 道徳		34	35	35	35	35	35
総合的な学習の時間				70	70	70	70
領 域	特別活動	34	35	35	35	35	35
	自立活動	170	175	140	140	140	140
合 計		850	910	980	1015	1015	1015

(重複学級2)

教科等	学年	学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
各 教 科	生活						
	国語	102	105	105	105	105	105
	算数	68	70	70	70	70	70
	音楽	34	35	35	35	35	35
	図画工作	68	70	70	70	70	70
	体育	102	105	105	105	105	105
合 各 わ せ た 指 導	日常生活の指導	170	210	210	210	175	175
	遊びの指導	102	105	105			
	生活単元学習				140	175	175
特別の教科 道徳							
総合的な学習の時間				70	70	70	70
領 域	特別活動						
	自立活動	204	210	210	210	210	210
合 計		850	910	980	1015	1015	1015

3. 中学部 (数字は年間時数)

(普通学級)

教科等	学年	学年		
		1年	2年	3年
各 教 科	国語	140	140	105
	社会	105	105	140
	数学	140	105	140
	理科	105	140	140
	音楽	35	35	35
	美術	35	35	35
	保健体育	105	105	105
	技術・家庭	70	70	35
	外国語	105	105	105
	特別の教科 道徳		35	35
総合的な学習の時間		35	35	35
領 域	特別活動	35	35	35
	自立活動	70	70	70
合 計		1015	1015	1015

(重複学級1)

教科等	学年	学年		
		1年	2年	3年
各 教 科	国語	175	175	175
	社会			
	数学	140	140	140
	理科			
	音楽	35	35	35
	美術	35	35	35
	保健体育	105	105	105
	職業・家庭	70	70	70
	外国語			
	教 科 指 導	日常生活の指導		
生活単元学習		105	105	105
作業学習		140	140	140
特別の教科 道徳		35	35	35
総合的な学習の時間		35	35	35
領 域	特別活動	35	35	35
	自立活動	105	105	105
合 計		1015	1015	1015

(重複学級2)

教科等	学年	学年		
		1年	2年	3年
各 教 科	国語	70	70	70
	社会			
	数学	70	70	70
	理科			
	音楽	35	35	35
	美術	35	35	35
教 科 指 導	保健体育	105	105	105
	職業・家庭			
	外国語			
教 科 指 導	日常生活の指導	175	175	175
	生活単元学習	140	140	140
	作業学習	175	175	175
特別の教科 道徳				
総合的な学習の時間		35	35	35
領 域	特別活動	35	35	35
	自立活動	140	140	140
合 計		1015	1015	1015

4. 高等部 (数字は週時間数)

令和5年度入学生3か年間教育課程

(普通学級)

各教科	科目	標準単位	産業工芸科・被服科 I												産業工芸科・被服科 II				産業工芸科・被服科 III				
			①				②				③				1		2		3		計		
			1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	1	2	1	2	1	2	
国語	現代の国語	2	2		2	2		2	2		2	2		2	2		2	2		2	2		2
	言語文化	2	2		2	2		2	2		2	2		2	2		2	2		2	2		2
	論理国語	4		2	2	4		2	2	4		2	2	4		3	3		6				
地理歴史	地理総合	2	2		2	2		2	2		2	2		2	2		2	2		2	2		2
	歴史総合	2		2	2		2	2		2	2		2	2		2	2		2	2		2	2
数学	数学I	3	3		3	3		3	2		5	3		2			5	3		2			5
	数学II	4		4	4		4	4															
	数学A	2		3	3		3	3						2	2					2	2		
	数学B	2						2△	0.2														
理科	科学と人間生活	2	2		2	2		2	2		2	2		2	2					2			
	物理基礎	2		2	0.2		2	0.2		2	0.2		2	0.2									
	化学基礎	2		2	0.2		2	0.2		2	0.2		2	0.2									
	生物基礎	2		2	0.2		2	0.2		2	0.2		2	0.2						2			2
保健体育	保健体育	7-8	3	3	3	9	3	3	3	9	3	3	3	9	3	3	3	9	3	3	3	9	9
	保健	2	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	1	2
芸術	音楽I	2	2		0.2	2		0.2		2		2		2						0.2			0.2
	美術I	2	2		0.2	2		0.2		2		2		2						0.2			0.2
	美術II	2										3		3									
	美術III	2										4		4									
外国語	英語コミュニケーションI	3	3	2	5	3	2		5	3	2		5	3					3			3	
	論理・表現I	2		2	2		2△	0.2															
家庭情報	家庭基礎	2	2		2	2		2	2		2	2		2	2				2			2	
産業工芸科	工業技術基礎	2-4	3		3	3		3	3		3	3		3	3				3			3	
	課題研究	2-8			2	2		2	2		2	2		2	2				2			2	
被服科	実習	2-16		5	7	12		5	7	12		5	7	12					5	7	12	12	
	製図	2-12		2	2	2		2	2	2		2	2	2					2	2	2	2	
	工業情報数理	2-8	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	2	6	2	2	6	
	生活産業基礎	2-4	2		2	2		2	2	2		2	2	2					2	2	2	2	
	課題研究	2-4			2	2		2	2		2	2		2	2				2	2	2	2	
	生活産業情報	2-6		2	2	4		2	2	4		2	2	4					2	2	4	4	
	保育基礎	2-6		2	2	2		2	2	2		2	2	2					2	2	2	2	
	ファッション造形基礎	2-10	3	3		6	3	3		6	3	3		6	3	3			6	3	3	6	
	ファッション造形	2-10			5	5		5	5		5	5		5	5				5	5	5	5	
	フードデザイン	2-6		2	2	4		2	2	4		2	2	4					2	2	4	4	
小計		27	27	27	81	27	27	27	81	27	27	27	81	27	22	21	21	70	0	0	0	0	
ホームルーム活動		1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	3	
自立活動		2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	2	7	8	17	29	29	29	87	87	
総合的な探究の時間*																							
合計		30	30	30	90	30	30	30	90	30	30	30	90	30	30	30	90	30	30	30	90	90	

*1「情報I」は、「工業情報基礎」もしくは「生活産業情報」に代替する。
*2「総合的な探究の時間」は「課題研究」に代替する。

(重複学級1)

教科等	学年	1年	2年	3年
各教科	国語	5	5	5
	社会			
	数学	4	4	4
	理科			
	音楽	1		
	美術	1		
	保健体育	3	3	3
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導			
	生活単元学習	4	4	4
	作業学習	5	7	7
	特別の教科 道徳			
総合的な探究の時間	2	2	2	
領域	特別活動	1	1	1
	自立活動	4	4	4
	合計	30	30	30

(重複学級2)

教科等	学年	1年	2年	3年
各教科	国語	2	2	2
	社会			
	数学	2	2	2
	理科			
	音楽	1		
	美術	1		
	保健体育	3	3	3
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	5	5	5
	生活単元学習	4	4	4
	作業学習	7	9	9
	特別の教科 道徳			
総合的な探究の時間	2	2	2	
領域	特別活動	1	1	1
	自立活動	2	2	2
	合計	30	30	30

Ⅳ. 日課表

1. 幼稚部

日課		時間	
個別1	自由遊び	8:35~8:55	8:35~9:30
個別2		9:00~9:20	
朝の集まり		9:30~9:40	
朝の学級活動		9:40~10:40	
個別3	自由遊び	10:50~11:10	10:40~11:20
集団活動		11:20~12:10	
給食・自由遊び		12:10~13:40	
午後の集団活動		13:40~14:20	
帰りの会		14:20~14:40	
個別4		14:40~15:00	

2. 小学部

校時	時間	小学部時間
朝の会・朝学習		8:35~8:50
1校時		8:50~9:35
2校時		9:45~10:30
なかよしタイム		10:30~10:50
3校時		10:50~11:35
4校時		11:45~12:30
給食・昼休み		12:30~13:20
清掃		13:20~13:35
5校時		13:40~14:25
6校時		14:35~15:20
帰りの会		15:20~15:35

3. 中学部・高等部

校時	時間	中・高等部時間
朝の会・朝学習		8:30~8:40
1校時		8:40~9:30
2校時		9:40~10:30
3校時		10:40~11:30
4校時		11:40~12:30
給食・昼休み		12:30~13:20
清掃		13:20~13:35
5校時		13:40~14:30
6校時		14:40~15:30
帰りの会		15:30~15:40
部活動		15:50~17:30 [冬季] 15:50~17:00

IX. 年度別高等部進路状況 (平成25年度～令和4年度卒業生)

進 学 専 門 学 校	学 科	産業工芸科										被服科									
		25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4
		卒業生数	3	2	2	1	0	0	0	0	1	1	1	3	3	3	1	1	0	3	1
就 職	大 学	1																			
	短 大																				
	専 門 学 校			1	1																
	弱 電																				
	縫 製 ・ 織 物											1	1	1					1		
	金 属 加 工																				
	サ ー ビ ス																				
福 祉 就 労	製 造	1	2	1							1	1	2					1			
	福祉施設(介護)												1								
	そ の 他	1																			
福 祉 就 労	A 型 事 業 所										1	1			1				1		
	B 型 事 業 所													1					1		
	生 活 介 護																1				

表紙写真

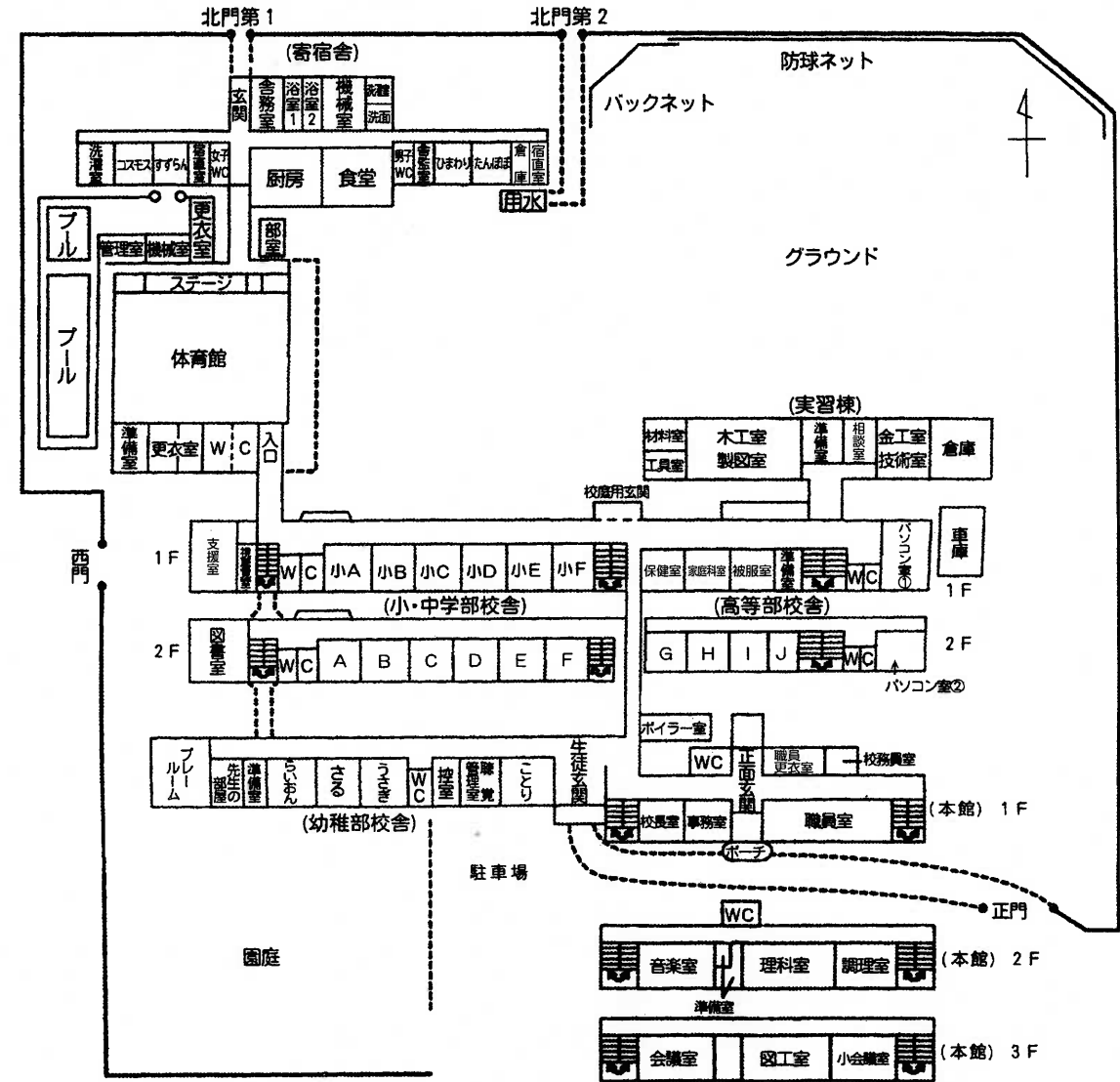
「校歌をモチーフにした陶板」

(平成21年度 小学部・中学部共同作品)

校地・校舎

校 地	20,680.48㎡	体 育 館	833.00㎡
本 館	1,183.04㎡	寄 宿 舎	637.14㎡
幼 稚 部 校 舎	577.33㎡	車 庫	48.00㎡
小 中 学 部 校 舎	1,327.40㎡	プ ール 管 理 舎	77.95㎡
高 等 部 校 舎	720.70㎡	プ ール (児 童 生 徒 用)	15m × 6m
実 習 棟	412.20㎡	プ ール (幼 児 用)	8m × 4m
		部 室	24.00㎡

校地・校舎配置図



交通案内図



利用交通機関

1. 京福バス(福井駅前) 丸岡線、大和田大学病院線に乗車、トヨペット前下車。徒歩1分
2. 福井駅より車で10分